

教科目名 保健・体育（Health & Physical Education）

学科名・学年：全学科 2 年

単位数など：必修 2 単位（前期 1 コマ，後期 1 コマ，授業時間 43.5 時間）

担当教員：大庭恵一，川内谷一志，古澤里司（全クラス担当）

授業の概要			
スポーツテスト（運動能力テスト，体力診断テスト）を実施して，個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を向上させ，個人技能（陸上競技，水泳），対人的技能（ソフトテニス，バドミントン，柔道），集団的技能（バレーボール，サッカー，バスケットボール）における全体技能（ゲーム）が遂行可能となるように行う．保健学習では，「現代社会と健康」「社会生活と健康」に重点をおいて学習する．			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (A1) (B1)
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする．（ゲームと記録） (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し，ゲームを楽しむことができるようにする．（ゲーム） (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する．（定期試験）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1－3 4, 5 6－9 10, 11 12, 13	1. バレーボール 2. スポーツテスト 3－1. ソフトボール（男子） 3－2. ソフトテニス（女子） 4. 水泳 5. 保健	○個人技能の習得，班編成，ルール，審判法の確認. ○ {運動能力テスト（4 種目），体力診断テスト（4 種目）} を正確に測定する. ○ゲームによる技能の向上と審判法の習得. ○ストローク，サーブなどの個人技能の習得. ○クロール，平泳ぎの習得. ○「喫煙，飲酒および薬物乱用と健康」に重点をおいて学習する.	【理解の度合い】
14	前期期末試験	○筆記による保健のテスト行う．	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う．	
15, 16 17-20 21, 22 23-25 26, 27	6. 陸上競技 7-1. サッカー（男子） 7-2. バドミントン（女子） 8. 柔道 9. バスケットボール 10. 保健	○ハードルの基本技能を習得し，80m ハードルのタイムを測定する．女子はハードルを低くして指導する. ○個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法の習得. ○個人技能の習得後，ダブルスのゲームを学習する. ○個人技能の習得，約束練習や簡易試合を行い，ルール，審判法の習得. ○個人技能の習得．ゲームによるルール・審判法の習得. ○「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する.	【理解の度合い】
28	後期期末試験	○筆記による保健のテスト行う．	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う．	
履修上の注意		授業は時間厳守とする．	
教 科 書		高石昌弘，小沢治夫ほか，「現代保健体育」，大修館書店．	
参 考 図 書		秋山兼範，麻生紘二ほか，「最新スポーツルール」，大修館書店．	
自学上の注意		授業で行うスポーツのルールを調べておく．	
関 連 科 目		保健・体育（1 年，3 年）	
総 合 評 価		達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する． 総合評価＝0.8×（授業で行った各種目の実技点の平均）+0.2×（保健テスト点） 総合評価は，前期評価と後期評価を平均して評価する．授業態度により，評価点からその 20%を上限として減点を行う． 総合評価 60 点以上を合格とする．再試験は，実施しない．	
		【総合評価】 点	